



40年受け継いだ「世界の平和と人々の幸せ」の願いこれからも

27.5.14  
杉並区広報課

## 「アンネのバラ」を一般公開します！

5月16日から19日まで、高井戸中学校（高井戸東1丁目28番1号）で、生徒が丹精を込めて育てている「アンネのバラ」の一般公開が行われます。このバラには、「世界の平和と人々の幸せ」を願う生徒の気持ちがこもっています。取り組みを始めたときは、わずか3株しかなかったバラも、40年目になる今年は140株まで増え、見ごろを迎えています。

「アンネの日記」でおなじみのアンネ・フランクは、第二次世界大戦中、ユダヤ人の迫害を逃れるため、家族とともにオランダの隠れ家で生活していました。「アンネのバラ」は、そのときアンネがいつも屋根裏部屋から眺めていた野バラを、ベルギー人の園芸家が品種改良して「アンネ・フランク」と名付け、アンネの父・オットーさんに寄贈したものです。つぼみは赤色で花が開くとオレンジ色になり、徐々に花卉が淡いピンク色に変わっていく、グラデーションのとても美しい品種です。

昭和50（1975）年、高井戸中学校の当時の2年生が、国語の授業で「アンネの日記」を学び、感想文を冊子にまとめて、アンネの父・オットーさんに送ったことから交流が始まりました。翌年の昭和51（1976）年にオットーさんから高井戸中学校にアンネのバラ3株が贈られました。



高井戸中学校では、生徒会役員が新入生オリエンテーションのときに「世界の平和と人々の幸せという私たちの願いをこめて、このバラを育てていこう」と話し、バラが先輩から後輩へと受け継がれています。

現在も、「アンネのバラ委員会」の生徒と、地域や保護者の方が協力しながら大切に育て、今年は約140株の美しいバラが見ごろを迎えています。今年は、この取り組みを始めて40年目を迎えました。

高井戸中学校池田武男校長は、「過去にバラが途絶えそうになった年もあるなど、順風満帆にいかないこともあったが、40年の節目を迎えることができた。アンネ・フランクに関わる歴史から学ぶことは多く、生徒にとっての精神的な支柱になってくれればいい」と話していました。

### ■高井戸中学校「アンネのバラ」一般公開日時■

- 【日 時】 5月16日（土曜）午後1時～4時  
5月17日（日曜）～19日（火曜）午前9時～正午
- 【場 所】 区立高井戸中学校（高井戸東1丁目28番1号）
- 【費 用】 無料。直接会場へお越しください。
- 【その他】 車での来場はご遠慮ください。

【問い合わせ先】 高井戸中学校：03-3302-1762  
杉並区広報課：03-3312-2111